

## 建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在韓国大使館

記入日 2013年3月5日

### 1. 現地の建設工事に係る経済情報

資料名：主要建設統計

URL：[http://www.cak.or.kr/board/boardList.do?boardId=statistic\\_build&menuId=86](http://www.cak.or.kr/board/boardList.do?boardId=statistic_build&menuId=86)

（大韓建設協会、韓国語）

資料名：月刊建設経済動向

URL：[http://www.cak.or.kr/board/boardList.do?boardId=statistic\\_mconomy&menuId=89](http://www.cak.or.kr/board/boardList.do?boardId=statistic_mconomy&menuId=89)

（大韓建設協会、韓国語）

### 2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向（改正等がなければ記入不要）

なし。

### 3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙	添付
1	<p>国土海洋部、今年に「海外建設現場訓練(OJT)」400人支援：</p> <p>国土海洋部は、2013年度海外建設現場訓練(OJT)支援事業を通じて、中小・中堅建設業者を対象に合計400人の新規建設人材を選抜し、海外建設現場に派遣すると明らかにした。海外建設現場訓練支援事業は、韓国内求職者の就職及び中小・中堅建設業者の海外進出を支援するために、中小・中堅建設業者を対象として、新規採用人材を海外建設現場に派遣し、一定期間の現地実務教育・訓練を受けられるように国家が支援する制度である。</p>	<p>2013/2/13</p> <p>国土海洋部</p> <p>記事資料</p>	あり <del>なし</del>
2	<p>国土海洋部、今後5年間の建設産業発展方向を提示—第4次建設産業振興基本計画(2013～2017)発表—：</p> <p>国土海洋部は、建設景気低迷が長期化している状況と、韓国建設市場が単純施工中心の量的成長を持続するのは限界があるという専門機関の予測等を総合的に勘案する場合、建設産業の発展のためには、質的成長のための努力がより一層重要になったと判断し、これを中心とした「第4次建設産業振興基本計画」を策定したと明らかにした。</p>	<p>2013/2/14</p> <p>国土海洋部</p> <p>記事資料</p>	あり <del>なし</del>
3	<p>国土海洋部、2013年「グローバルインフラファンド妥当性調査」支援対象事業募集：</p> <p>国土海洋部は、韓国の企業の高付加価値海外投資開発型事業への進出を支援しグローバルインフラファンド(GIF※)投資対象事業を発掘するために、今年度のGIF妥当性調査支援対象事業を2月22日(金)～3月21日(木)まで募集すると明らかにした。</p> <p>※官民共同投資で造成されたファンド(2010年7月4千億ウォン造成)で、海外投資開発型事業に対する資本及び貸出投資中</p>	<p>2013/2/21</p> <p>国土海洋部</p> <p>記事資料</p>	あり <del>なし</del>

### 4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向 (報道情報以外)

なし。